

薫風

六年 組（ ）

「薫風」は、様々な表現技法を使い、筆者が感じたことを取り入れてまとめられた随筆です。

1 随筆ずいひつとはどういう文章でしょうか。辞書で調べましょう。

2 次の表現の工夫をみつけ、教科書に線を引き、記号を書きましょう。

① … 言い切り（体言止め） ↓ 「もの」で文が終わる。

例 ・春はあけぼの。 ・今日の給食は、カレーうどん。

② … 擬人法ぎじんほう ↓ ものを人に例えて表現する。

例 ・お日さまがわらっている。 ・風がドアをノックする。

3 筆者が感じたことを表現した文や言葉をみつけ、次のようにグループ分けをし、教科書に記号を書きましょう。

・聞こえる音 ↓ ③音 ・話し声 ↓ ④声

・香り・におい ↓ ⑤香

・はだにふれた時の感じ ↓ ⑥はだ

4 この文章で、筆者の黛さんは自分にとっての「薫風」として、「花み

かんの香り」と「祖父の着物のおい」をあげています。

「花みかんの香り」と「祖父の着物のおい」に対する黛さんの思い出を百字程度でまとめましょう。

花みかんの香り

祖父の着物のおい

5 筆者の黛さんが、この随筆で伝えたかったことは何でしょうか。本文中から探しましょう。